

第 60 年度（平成 25 年度）事業報告

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

第 60 年度（平成 25 年度）事業報告

（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施した。

II. 事業の内容

1. 研究助成金の交付

平成 25 年度の研究助成金として、研究助成（全国対象 20 件 1,000 万円）、および特別研究助成（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象 2 件 500 万円）、計 22 件 1,500 万円を交付した。

1) 研究助成（50 万円/件・年）：

4 年目：5 件、 3 年目：5 件、 2 年目：5 件、 新規：5 件

計 20 件 計 1,000 万円

2) 特別研究助成

（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象，250 万円/件・年）：

2 年目：1 件、 新規：1 件

計 2 件 計 500 万円

総計 22 件 計 1,500 万円 を交付した

各助成金の交付先は【別紙 1】の通り。

2. 研究助成企画および選考

(1) 平成 25 年 6 月 24 日 企画会議

平成 26 年度特別研究助成の募集テーマの選考および募集要項等の審議を行い、募集テーマを「エピジェネティクスに基づく病因解明」に決定した。また、募集方法については、募集要項を大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県下の大学等研究機関へ郵送および篷庵社ホームページへの掲載により公示すること、また、募集期間を平成 25 年 9 月 1 日から 10 月 31 日とすることを決定した。

以上の結果について、平成 25 年 7 月 2 日に選考委員長から理事長へ答申した。

(2) 平成 26 年 1 月 17 日 選考委員会（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

平成 26 年度被助成者の選考等を行い、特別研究助成 1 名、研究助成 5 名を決定した。以上の結果について、平成 26 年 1 月 23 日に選考委員長から理事長へ答申した。

(3) 平成 26 年 2 月 14 日 推薦委員会（書面開催）

平成 27 年度研究助成の 5 名の推薦委員を本財団外部理事（6 名）および外部評議員（7 名）からなる推薦委員会で互選により選出した。

3. 研究成果報告【別紙2】

第32回研究助成発表会を平成25年7月26日、塩野義製薬株式会社医薬研究センター（大阪府豊中市二葉町3丁目1番1号）において開催した。

4. 助成の募集

平成26年度「特別研究助成」の公募を行った。

III. 財団運営の概況

1. 理事会の決議事項

(1) 書面開催：平成25年5月21日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題1：定時評議員会招集の件

原案通り承認可決した。

議題2：第59年度（平成24年度）事業報告の件

第59年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）事業報告書について原案通り承認可決した。

議題3：第59年度（平成24年度）決算の件

第59年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）決算について原案通り承認可決した。

議題4：理事推薦の件

理事の任期満了に伴う改選のため、理事候補者推薦について原案通り承認可決した。

(2) 書面開催：平成25年6月20日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題1：理事長（代表理事）および常務理事選任の件

原案通り承認可決した。

議題2：第59年度（平成24年度）定期提出書類の件

原案通り承認可決した。

(3) 平成25年7月26日（塩野義製薬医薬研究センター（豊中市二葉町3丁目1番1号）において開催）

議題1：平成26年度（第19回）特別研究助成募集テーマ決定の件

平成25年6月24日に決議があったものとみなされた書面企画会議の通り、平成26年度特別研究助成の募集テーマを「エピジェネティクスに基づく病因解明」とすること、募集方法については、募集要項を大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県下の大学等研究機関へ郵送および篷庵社ホームページへの掲載により公示すること、また、募集期間を平成25年9月1日から10月31日とすることについて原案通り承認可決した。

報告事項：理事長および常務理事は平成25年度1度目の業務執行状況報告を行なった。

(3) 書面開催：平成25年12月25日（理事会決議があったものとみなされた日）

議題1：評議員会招集の件

原案通り承認可決した。

議題2：規程・規則改定および規程新設の件

公益財団法人として備えおくべき規程 4 件・規則 2 件について改定および新設を行うこと等、原案通り承認可決した。

(4)平成 26 年 3 月 5 日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：第 61 年度（平成 26 年度）事業計画の件

第 61 年度（平成 26 年度）事業計画として研究助成金の交付件数を 22 件とすること及び平成 26 年 7 月 15 日に第 33 回研究助成発表会を開催することを原案通り承認可決した。

議題 2：第 61 年度（平成 26 年度）収支予算に関する件

第 61 年度（平成 26 年度）収支予算および資金調達及び設備投資の見込みについて原案通り承認可決した。

議題 3：平成 26 年度研究助成金受領者決定の件

平成 26 年 1 月 17 日開催の選考委員会の決議通り、平成 26 年度被助成者について特別研究助成 1 名、研究助成 5 名を原案通り承認可決した。

議題 4：選考委員改選の件

平成 26 年 3 月 31 日を以て任期満了のため退任となる選考委員 2 名の選任について、原案通り承認可決した。

報告事項：理事長および常務理事は平成 25 年度 2 度目の業務執行状況報告を行なった。

2. 評議員会の決議事項

(1)平成 25 年 6 月 14 日定時評議員会（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：平成 24 年度（第 59 年度）事業報告の件

第 59 年度（平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）事業報告書について、原案通り承認可決した。

議題 2：平成 24 年度（第 59 年度）決算の件

第 59 年度（平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録承認について原案通り承認可決した。

議題 3：理事選任の件

理事の任期満了に伴う改選のため、理事選任について原案通り承認可決した。

議題 4：評議員選任の件

評議員 1 名の辞任のため、評議員 1 名の選任について原案通り承認可決した。

(2)平成 26 年 3 月 5 日（ヒルトン大阪（大阪市北区梅田 1 丁目 8 番 8 号）において開催）

議題 1：第 61 年度（平成 26 年度）事業計画に関する件

第 61 年度（平成 26 年度）事業計画として研究助成金の交付件数を 22 件とすること及び平成 26 年 7 月 15 日に第 33 回研究助成発表会を開催することを原案通り承認可決した。

議題 2：第 61 年度（平成 26 年度）収支予算に関する件

第 61 年度（平成 26 年度）収支予算および資金調達及び設備投資の見込みについて原案通り承認可決

した。

3. 報告事項

(1)平成 25 年 4 月 17 日

大阪市長宛に平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの「法人市民税減免申請書」を提出した。

(2)平成 25 年 4 月 17 日

大阪府中央府税事務所長宛に平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの「法人府民税の減免申請書」を提出した。

(3)平成 25 年 5 月 15 日

大阪市長より平成 25 年 4 月 23 日付「法人市民税減免通知書」を受領した。

(4)平成 25 年 6 月 3 日

大阪府中央府税事務所長から平成25年5月31日付「法人府民税の減免通知書」を受領した。

(6)平成 25 年 6 月 24 日

行政庁（内閣府）へ第 59 年度（平成 24 年度）事業報告書および監査報告書を提出した。

(7)平成 25 年 7 月 18 日

行政庁（内閣府）へ理事および評議員の変更届出を提出した。

(8)平成 26 年 2 月 7 日

行政庁（内閣府）より平成 24 年度事業報告の補正・修正を提出した。

(9)平成 26 年 3 月 24 日

行政庁（内閣府）へ平成 26 年度事業計画書および収支予算書等の定期提出書類を提出した。

5. 財務諸表

(1)貸借対照表（平成 25 年度） 【別紙 3】

(2)正味財産増減計算書（平成 25 年度） 【別紙 4】

(3)正味財産増減内訳表（平成 25 年度） 【別紙 5】

(4)貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書【別紙 6】

(5)財産目録（平成 26 年 3 月 31 日現在） 【別紙 7】

(6)財務諸表に対する注記（平成 25 年度） 【別紙 8】

以上

平成 25 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1 件 50 万円×20 件= 計 1,000 万円)

助成	所属(申請時)	研究者	研究テーマ
4 年目	東京理科大学 理学部第一部化学科	斎藤 慎一	新規 7 員環構築反応の開発とその応用
4 年目	名古屋市立大学大学院 薬学研究科	鈴木 孝禎	媒体メカニズムに基づいたヒストン脱メチル化酵素 阻害薬の創製
4 年目	大阪医科大学 薬理学教室	金 徳男	人工血管内腔狭窄機序の解明とキマーゼ阻害薬による 狭窄予防
4 年目	名古屋市立大学大学院 薬学研究科	平嶋 尚英	マスト細胞からのヒスタミン放出機構の解明
4 年目	北海道大学大学院 先端生命科学研究院	門出 健次	赤外円二色性スペクトルによる分子キラル分析法の開 発
3 年目	慶應義塾大学薬学部 薬理学講座	三澤 日出巳	加齢性記憶障害でのシナプス機能を改善する新規認知 症治療薬の開発
3 年目	大阪大学・産業科学研究所	笹井 宏明	新規概念に基づくエナンチオ選択的触媒反応の創出と 応用
3 年目	静岡県立大学薬学部	赤井 周司	ベンザイン反応を基軸とする生物活性芳香族化合物の 革新的合成
3 年目	金沢大学医薬保健研究域 薬学系	玉井 郁巳	トランスポーターを基盤とする創薬と最適薬物療法に 関する研究
3 年目	昭和薬科大学薬学部	田村 修	新規含窒素 1,3-双極子の開発と応用研究
2 年目	広島大学大学院 医歯薬学総合研究科	佐々木 道子	立体化学的に不安定なキラルカルバニオンの合成化学 への展開
2 年目	静岡県立大学 食品栄養科学部	三好 規之	酸化コレステロール secosterol の生物活性機構解析
2 年目	滋賀医科大学	小島 秀人	糖尿病性神経障害の治癒をめざす TNF- α の分子標的療 法
2 年目	名古屋市立大学大学院 薬学研究科	中川 秀彦	光制御可能な NO・活性酸素ドナー化合物の開発
2 年目	大阪市立大学大学院 医学研究科 分子病態薬理学	泉 康雄	超小型ミニブタを用いた新たな薬効評価系の確立
新規	熊本大学大学院生命科学 研究部 薬物活性学分野	香月 博志	加齢・生活習慣要因による視床下部機能の変調に関わ る分子機序の解明
新規	東京大学 工学系研究科	柴山 創太郎	「大学の企業化」による医薬品研究開発に対する影響 の分析
新規	昭和薬科大学	岡本 巖	動的活性制御を指向した環境応答型新規 <i>N</i> -アルキル芳 香族アミドの創製
新規	名古屋工業大学大学院 工学研究科	柴田 哲男	不活性結合活性化を伴うトリフルオロメチル化反応の 開発
新規	北海道大学大学院 先端生命科学研究院	比能 洋	筋ジストロフィー、多発性硬化症などの神経疾患に関 与する <i>O</i> -マンノース型糖鎖修飾の合成化学的機能解明

◆ 特別研究助成 (1 件 250 万円×2 件 = 計 500 万円)

助成	所属	研究者	研究テーマ
2 年目	京都府立医科大学大学院 医学研究科	黒田 純也	慢性骨髄性白血病の病態形成における骨髄微小環境誘 導性分子制御の解明と治療応用
新規	京都大学大学院 薬学研究科	高須 清誠	小員環炭化水素を構造素子とする創薬リード化合物の 創製

以上

第 32 回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日 時：平成 25 年 7 月 26 日(金)13 時 00 分から 17 時 20 分

場 所：塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム
大阪府豊中市二葉町 3 丁目 1 番 1 号
TEL:06-6331-5105【事務局直通】、06-6331-8081【代表】

13:00-13:05 ご挨拶 公益財団法人篷庵社 理事長 前田 孝

演 題 (講演 25 分、討論 15 分)

座 長

1. 《特別研究助成》

- | | | |
|-------------|---|---------------------|
| 13:05-13:45 | Wnt/ β -Catenin シグナル制御分子をシードとする創薬研究：
精密合成化学からの挑戦
好光 健彦 先生
(大阪大学薬学研究科 薬品製造化学分野) | シオノギ製薬(株)
村井 均 氏 |
| 13:45-14:25 | 2. 病態の体内微小環境で作用する活性天然物の探索とその標的分子の解明
荒井 雅吉 先生
(大阪大学大学院薬学研究科 天然物化学分野) | 小林 資正先生 |
| 14:25-15:05 | 3. ジアミン新合成法開発を基軸とした医薬品候補物質効率合成法への展開
石塚 忠男 先生
(熊本大学大学院生命科学研究部) | 廣部 雅昭先生 |
| 15:05-15:20 | 休 憩 | |
| 15:20-16:00 | 4. 膵 β 細胞を中心とした糖尿病発症原因の解明とその治療の多角的研究
大杉 満 先生
(東芝病院代謝 内分泌内科) | 北村 幸彦先生 |
| 16:00-16:40 | 5. 消化管における糖シグナル伝達を介した糖吸収の制御と末梢血白血球および内臓脂肪組織の遺伝子発現プロファイルとの関連
合田 敏尚 先生
(静岡県立大学食品栄養科学部 栄養生理学研究室) | 伊勢村 護先生 |
| 16:40-17:20 | 6. ポリフェノール類の薬効と毒性についての研究
今岡 進 先生
(関西学院大学理工学部 生命科学科) | 岩尾 洋先生 |

以上

附属明細書

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 26 年 6 月

公益財団法人篷庵社